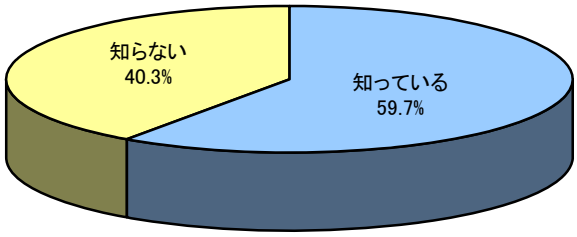
■『EYE MASTER（アイ マスター）検定』 集計結果概要

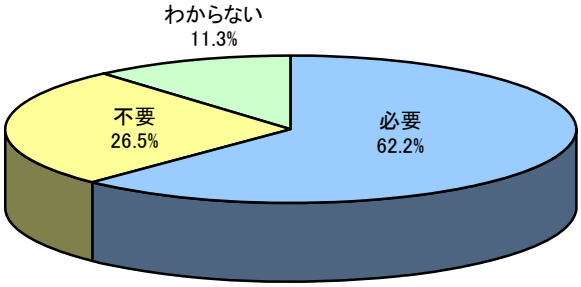
・集計期間：8 月 15 日～31 日
・アクセス数：1,343 人
・有効回答数：238 人

■『EYE MASTER（アイ マスター）検定』 集計データ

＜グラフ 1＞子供の視力の把握（n＝238）



＜グラフ 2＞子供の視力矯正の必要性（n=238）



＜表 1＞視力矯正が必要な子供の年齢（n＝175）

小学校1年～6年	中学1年～3年生	高校1年～3年生	その他
39人（22.3%）	84人（48.0%）	57人（32.6%）	27人（15.4%）

※一部重複回答あり

＜表 2＞ 4 段階の知識レベル別人数（n=238）

知識レベル	全体	視力矯正あり		視力矯正なし
		眼鏡	コンタクトレンズ	
ルーキーレベル（正答数0-9問）	7人（2.9%）	1人（14.3%）	4人（57.1%）	2人（28.6%）
ジュニアレベル（正答数10-19問）	162人（68.1%）	68人（42.0%）	56人（34.6%）	38人（23.4%）
シニアレベル（正答数20-23問）	67人（28.2%）	30人（44.8%）	27人（40.3%）	10人（14.9%）
アイマスターレベル（正答数全24問）	2人（0.8%）	0人（0%）	1人（50.0%）	1人（50.0%）

＜表 3＞平均正答数／保護者の視力矯正別(n=238)

全体	視力矯正(眼鏡)	視力矯正(コンタクトレンズ)	視力矯正なし
17.2	17.3	17.5	16.3

＜表 4＞目の健康・視力矯正編　正答率／保護者の視力矯正別(n=238)

問題	全体	視力矯正あり		視力矯正なし
		眼鏡	コンタクトレンズ	
Q1　目の仕組みの名称で正しい組み合わせは？	78.6%	82.8%	79.5%	68.6%
Q2　白目(結膜)にあって黒目(角膜)にないものは？	73.9%	71.7%	79.5%	68.6%
Q3　目の健康にとって大切なものは？	95.0%	98.0%	96.7%	86.3%
Q4　平成19年度「学校保健統計調査」では中学生の何%が“裸眼視力1.0未満”となっている？	29.8%	28.3%	31.4%	25.5%
Q5　近視は遺伝的に決まるので、環境的要素は関係ない？	92.9%	94.0%	94.3%	88.2%
Q6　10代は視力回復の可能性があるのでしばらく様子を見た方がよい？	84.9%	85.9%	83.0%	86.3%
Q7　視力矯正をすると余計に目が悪くなることがあるので矯正しない方がよい？	91.1%	93.0%	88.6%	92.2%
Q8　眼鏡をかけたり、かけなかったりすると視力が落ちやすい？	39.5%	41.4%	25.0%	60.8%
Q9　コンタクトレンズがあれば、眼鏡はいらない？	96.6%	98.0%	98.9%	90.2%
Q10　目の疲れを防ぐには、対象物との距離をどれくらい離すのが適切？	82.8%	84.8%	88.6%	68.6%

※黄色の網掛部分が最も正答率の高い属性、青枠の囲み部分は「視力矯正なし」の保護者の正答率が高い問題

＜表 5＞コンタクトレンズ編　正答率／保護者の視力矯正別(n=238)

問題	全体	視力矯正あり		視力矯正なし
		眼鏡	コンタクトレンズ	
Q1　コンタクトレンズの原理を発見した人は？	42.9%	43.4%	48.9%	31.4%
Q2　コンタクトレンズと同じ高度管理医療機器は？	78.2%	81.8%	77.3%	72.5%
Q3　コンタクトレンズの説明で間違っているものは？	47.5%	41.4%	55.7%	45.1%
Q4　装用者がもっとも多いタイプは？	67.2%	68.7%	69.3%	60.8%
Q5　2週間交換タイプの説明で正しいのは？	78.6%	80.8%	77.3%	76.5%
Q6　終日装用の意味で正しいのは？	82.4%	82.8%	86.4%	74.5%
Q7　コンタクトレンズが目の後ろ側にいってしまうことがある？	67.6%	65.7%	64.8%	76.5%
Q8　ソフトコンタクトレンズ装用中、目はどのように酸素を取り入れている？	74.4%	74.7%	73.9%	74.5%
Q9　充血の一因として考えられるものは？	95.0%	97.0%	94.3%	92.2%
Q10　酸素を多く通すことで注目されている次世代コンタクトの名称は？	52.9%	49.5%	59.1%	49.0%
Q11　コンタクトレンズのつけ心地に関係しているものは？	32.8%	30.3%	35.2%	33.3%
Q12　目の紫外線対策として適切なものは？	73.1%	74.7%	73.9%	68.6%
Q13　ソフトコンタクトレンズのケアで間違っているものは？	65.5%	64.6%	70.5%	58.8%
Q14　コンタクトレンズ購入に関して適切なものは？	93.7%	96.0%	97.7%	82.4%

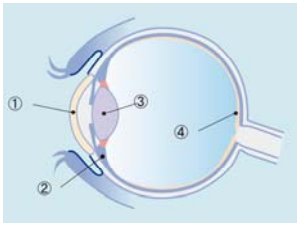
※黄色の網掛部分が最も正答率の高い属性、青枠の囲み部分は「視力矯正なし」の保護者の正答率が高い問題

■『EYE MASTER(アイ マスター)検定』問題一覧表

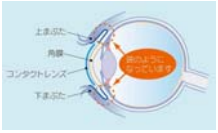
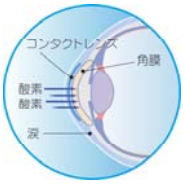
【ウォーミングアップアンケート】

No	問題	選択肢	
1	視力矯正が必要なお子様がいらっしゃいますか？	a	いる
		b	いない
		c	子供に矯正が必要かどうかわからない
1'	視力矯正が必要なお子様の学年は？ （あてはまるもの全てをお選びください）	a	小学校1～6年生
		b	中学校1～3年生
		c	高校1～3年生
		d	その他
2	お母様／お父様ご自身は、視力矯正をしていますか？	a	主にメガネで矯正している
		b	主にコンタクトレンズで矯正している
		c	矯正していない／矯正の必要がない
3	現在のお子様の視力を知っていますか？	a	知っている
		b	知らない
4	以下の①～⑤は、目のために良くない行動・生活です。 お子様の行動・生活にあてはまる項目がいくつありますか？ ①勉強する際に姿勢が悪く目を近づけて見ている ②寝転んで本を読んでいる ③TVゲーム・携帯ゲームを1時間以上続けてやっている ④暗いところで本を読んだり勉強したりしている ⑤テレビやパソコンに近づいて見ている	a	0個
		b	1～2個
		c	3～5個

【目の健康・視力矯正編／全 10 問】　※青の網掛け部分が正解箇所

No	問題		選択肢		解説
1	目のしくみ	“見ること”に重要な役割を果たす①～④の各部分の正しい名称は？ 	a	①角膜　②毛様体 ③水晶体　④網膜	目は様々な組織が関係しあって“見る”という役割を果たしています。 ・角膜：カメラのレンズにあたる、透明な膜。いわゆる黒目。 ・水晶体：角膜と共にカメラのレンズの役割をする。厚さを変えてピント合わせをする機能もある。 ・毛様体筋：水晶体の厚さを変化させてピントを合わせる。 ・網膜：カメラのフィルムに相当し、網膜にあたった光の情報が視神経を通して脳に伝達される。
			b	①網膜　②毛様体 ③水晶体　④角膜	
			c	①角膜　②水晶体 ③網膜　④毛様体	
2	目のしくみ	健康な目の白目（結膜）にあって、黒目（角膜）に無いものは？	a	血管	黒目（角膜）は、血管の無い透明な組織で、人体の中で最も特殊な組織の1つといわれています。
			b	骨	
			c	細胞	
3	目のしくみ	目の健康のために大切なもので、正しいのは次のうちどれ？	a	酸素	血管が無い黒目（角膜）は、体の他の部分とは違って、涙を通して空気中から直接酸素を取り入れています。体が呼吸によって酸素を取り込むのと同じように、目も十分な酸素が不可欠です。
			b	適度な紫外線	
			c	窒素	
4	視力	近年、子供の視力低下が進んでいるといわれていますが、平成19年度の「学校保健統計調査」（文部科学省）では、中学生の何%が“裸眼視力1.0未満”（遠方）となっているでしょう？	a	51.2%	平成19年度の調査では、遠方の裸眼視力が1.0未満の割合は小学生で28.1%ですが、学年が進むにつれてその割合は増え、中学生で51.2%、高校生で55.4%となり、実に中高生の2人に1人が「裸眼視力1.0未満」となっています。 ＊文部科学省「学校保健統計調査」 学校種別　疾病・異常被患率等の推移／両眼のうち低い方の視力。小数点以下第2位を四捨五入
			b	41.2%	
			c	31.2%	
5	矯正の間違った思い込み	近視は遺伝的に決まるので、環境的な要素はあまり関係ないといわれている？	a	YES	近視は遺伝的要素や環境的要素によって起こると考えられています。病的な近視では遺伝的要素が大きいといわれていますが、それ以外では環境的要素の影響が大きいようです。 そのため、例えば遺伝的には近視の要素を持っていなかったとしても、目に負担がかかる生活環境（近くを見る作業が多い、ゲームを長時間やっているなど）にいると、近視が進行する可能性があるので注意が必要です。
			b	NO	
6	矯正の間違った思い込み	10代なら視力が落ちても再び回復することがあるので、しばらく様子を見てから眼科にかかった方が良い。	a	YES	視力低下は、近視（屈折異常）だけが原因とは限らず、目の病気から来ていることもあります。視力の低下に気付いたら、なるべく早く眼科に相談しましょう。 成長期の子供には、一時的な近視（仮性近視）が起こることもあり、この場合は、眼科医の適切な指導により、視力が回復することもあります。しかし、一般に、近視を劇的に回復させることはできません。
			b	NO	
7	矯正の間違った思い込み	視力矯正をすると、よけい目が悪くなることがあるので、矯正しない方が良い？	a	YES	その時の目の状態に合った視力矯正が出来ていれば、それによって余計に視力が落ちることはありません。 見えづらいなどの不都合があるようであれば、その時点で眼科医に相談してみましょう。
			b	NO	
8	矯正の間違った思い込み	メガネをかけたり、かけなかったりしていると視力が落ちやすい？	a	YES	メガネをかけたり、かけなかったりしていることが原因で視力が悪くなることはありません。 ある程度（小学校高学年以上では両眼で0.7）見えていれば、授業中など必要な時だけの使用でも問題はありません。ただ、子供の生活上の便利さや安全性を考慮すると、常に正しく見えるようにしていた方が良いといえます。
			b	NO	
9	矯正の間違った思い込み	コンタクトレンズを使用している場合、もうメガネは持っておかなくても大丈夫？	a	YES	コンタクトレンズを使い始めても、度の合ったメガネを用意しておきましょう。目の調子によっては、メガネにかけかえて目を休めた方が良いこともあります。また、万が一目に異常が出た場合、一時的にコンタクトレンズの装用を中止することも必要なため、度の合ったメガネの用意が必要です。
			b	NO	
10	対策	一般に、近くを見る作業が続くと、目の疲れ（眼精疲労）の原因となってしまいます。 目の疲労を防ぐためには、本を読んだり、物を書いたりする時に目を対象物からどれ位離すのが適しているでしょう？	a	30cm	対象物に目を近づけすぎると、目の調節機能が強く働くため、目が疲れてしまいます。また、このような状態が続くと、近視が進んでしまうこともあるといわれています。手元の対象物を見る場合は、目との間を30cm位にすると目にとって負担は少ないでしょう。しかし、目を疲れさせないためには、30cmの距離であっても、長時間にわたって近くを見る作業を続けないこと。時々対象物から目を離して、遠くを眺めて目を休めることをおすすめします。
			b	80cm	
			c	10cm	

【コンタクトレンズ編／全 14 問】　　※青の網掛け部分が正解箇所

No	問題		選択肢		解説
1	一般	コンタクトレンズの原理を最初に発見したといわれている人は誰？	a	レオナルド・ダ・ヴィンチ	レオナルド・ダ・ヴィンチが1508年に行った、大きなガラスボウルの中に水を入れ、水面に顔をつけてボウル内の水を通して外を見るという実験で、光の屈折により物の形が違って見えることを発見しました。これがコンタクトレンズの原理の最初の発見といわれています。
			b	湯川秀樹	
			c	トーマス・エジソン	
2	CLについて	コンタクトレンズは、医療機器です。法律（薬事法）によって『高度管理医療機器』というグループに分類されています。コンタクトレンズと同じグループに指定されているものはどれ？	a	心臓ペースメーカー	人工関節なども同じグループです。間違った使い方をすると健康に重大な影響を与えるおそれがあるため、医師の適切な管理が必要な医療機器として指定されています。日々使っていくうちに、ついつい医療機器であるという意識が薄れてしまいがちですが、必ず使い方のルールを守り、眼科医の検査を定期的に受けることが必要です。
			b	絆創膏	
			c	メガネ	
3	CLについて	コンタクトレンズは、素材によってハードコンタクトレンズとソフトコンタクトレンズの2種類があります。ハードコンタクトレンズとソフトコンタクトレンズの説明について、間違っているものはどれ？	a	ハードコンタクトレンズにもソフトコンタクトレンズにも、使い捨てタイプがある	使い捨てタイプは、ソフトコンタクトレンズにしかありません。汚れが蓄積する前に交換することができるのが、使い捨てタイプのメリットの1つです。 ソフトコンタクトレンズは、水分を含んだやわらかい素材で出来ているので、初めてコンタクトレンズをする場合でも、つけた時に異物感を感じにくいようです。また、レンズがずれたり、目から落ちたりすることがほとんどないので、スポーツにも向いています。
			c	ソフトコンタクトレンズは、ハードコンタクトレンズと比べてレンズがずれにくい	
			d	ハードコンタクトレンズは水を含まない硬い素材、ソフトコンタクトレンズは水分を含んだ柔らかい素材で出来ている	
4	CLについて	コンタクトレンズの中で装用者が多いのはソフトコンタクトレンズですが、交換頻度の違いによって様々な種類があります。使い捨て、および定期交換タイプの中で、最も使っている人が多いのはどんなタイプ？	a	2週間交換タイプ	2週間交換タイプのソフトコンタクトレンズの装用者が最も多くなっています。 ＊ジョンソン・エンド・ジョンソン／使い捨てコンタクトレンズU&A調査 2007年（主に使っているコンタクトレンズのタイプ）
			b	1日使い捨てタイプ	
			c	1ヶ月交換タイプ	
5	CLについて	ソフトコンタクトレンズには、交換頻度によって、1日使い捨てタイプや2週間交換タイプなど様々な種類があります。 では、“2週間交換タイプ”とは、何の期間が“2週間”で交換することを意味しているでしょうか？	a	レンズケースの封を開けた日から最長2週間で交換	2週間交換ソフトコンタクトレンズの交換期限は、目につけた日数ではなく、レンズケースを開封した日からの日数です。途中使わない日があっても、開封して2週間経ったら交換して下さい。
			b	目につけた日数が、2週間（14日）になったら交換	
			c	1日3時間以上目につけた日数が、2週間（14日）になったら交換	
6	CLについて	ソフトコンタクトレンズは、装用スケジュール（装用方法）の違いによって『終日装用』と『連続装用』に分けられます。 『連続装用』とは、睡眠中もつけたままで装用する使い方ですが、では、『終日装用』はどのような使用方法のこと？	a	朝つけて、夜はずす装用方法	『終日装用』は、朝つけて夜はずす使い方です。1日使い捨てタイプ以外は、はずした後は、すぐにレンズの洗浄・消毒が必要です。ほとんどのコンタクトレンズがこのタイプです。“終日”といっても、眼科医の指示に従い決められた時間内で装用するようにしてください。 『連続装用』は、一般的に目の負担がより大きくなるため、眼科医の指示に従って使用し、より頻繁に検査を受ける必要があります。
			b	眠りさえしなければ、起きている間何時間でも装用する方法	
			c	言い方の違いなので、『連続装用』と使い方に違いはない	
7	CLについて	コンタクトレンズがずれてしまうと、レンズが目の後ろ側にいってしまうことがある？	a	YES	まぶたの奥は、袋のようになっているため、コンタクトレンズが目の後ろ側に入り込んでしまうことはありません。頻繁にずれるようであれば、レンズが目に合っていない可能性があるので眼科医に相談して下さい。 
			b	NO	
8	選ぶポイント（酸素）	体の他の組織と同様に、黒目（角膜）にも酸素が必要ですが、ソフトコンタクトレンズを装用中、目はどのようにして酸素を取り入れているでしょうか？	a	コンタクトレンズを通して空気中や涙から	黒目（角膜）は血管の無い組織のため、角膜の細胞に必要な酸素は涙を通して空気中から直接取り入れています。 ソフトコンタクトレンズを装用中は、酸素はレンズを通って角膜に届きます。そのため、レンズがどれくらい酸素を通すか（酸素透過性）が目の健康には大切なポイントになります。 
			b	角膜の内側から運ばれる	
			c	コンタクトレンズに覆われていない白目部分から補う	

※青の網掛け部分が正解箇所

No	問題		選択肢		解説
9	選ぶポイント（酸素）	ソフトコンタクトレンズを装用中に、充血が起こる場合があります。 この充血の一因として考えられるのは次のうちどれ？	a	酸素不足	黒目（角膜）は、コンタクトレンズを通して目に必要な酸素を取り入れています。酸素透過性の良くないコンタクトレンズを長時間付けている場合などで、角膜の酸素が不足すると、周りの血管が酸素を届けようと、より多くの血液が流れ込み、充血の一因となります。
			b	窒素不足	
			c	鉄分不足	
10	選ぶポイント（酸素）	コンタクトレンズはその素材によって酸素を通す量が異なります。従来のソフトコンタクトレンズ素材よりも酸素を多く通すことで 注目されている次世代のレンズ素材の名称は？	a	シリコーンハイドロゲル	通常のソフトコンタクトレンズの場合、酸素はレンズ素材に含まれる水分を介して通る仕組みになっています。 次世代素材「シリコーンハイドロゲル」は、酸素がレンズの水分を介してだけでなく、直接レンズ素材を通るので、これまでのソフトコンタクトレンズ素材よりも多くの酸素が目に届きます。
			b	コラーゲン	
			c	コラーゲンハイドロゲル	
11	選ぶポイント（装用感）	目に直接使うコンタクトレンズはそのつけ心地も大切です。次のうち、コンタクトレンズのつけ心地に関係しているものを全て選んでください。	a	レンズの厚さ	つけ心地には、レンズのやわらかさ、うるおい感、なめらかさ、レンズデザイン、厚さなど様々な要素が関係しています。 もしもつけ心地に違和感を感じたら、すぐに眼科医に相談してください。
			b	レンズのやわらかさ	
			c	レンズのうるおい（保水力）	
12	選ぶポイント（UVカット）	目も肌と同じように紫外線の影響を受けているといわれており、目にも紫外線対策が必要といわれています。目の紫外線対策として考えられるものはどれ？	a	帽子やUVカットサングラスに加えて、UVカット付きのコンタクトレンズを使う	紫外線は、4-9月をピークに、1年中、曇っていても降り注いでいるので十分な対策が必要です。帽子やサングラスに加えて、UVカット付きのコンタクトレンズを使用するなど適切な紫外線対策を。 サングラス（UVカット付き）は、正面からの紫外線には有効ですが、形によっては側面から入り込む紫外線は防ぎきれません。黒目全体をカバーするUVカット付きコンタクトレンズなら、サングラスのすき間から入り込む紫外線対策にもなります。また、色の濃いサングラスだと瞳孔が開き、より多くの紫外線が目に入ってしまうことがあるので、色の薄いものの方が良いでしょう。
			b	サングラスは色の薄いものより、色の濃いものを使った方が良い	
			c	8—9月が1年で最も入念な紫外線対策が必要な時期である	
13	コンプライアンス	ソフトコンタクトレンズのケアに関して、間違っている説明はどれ？	a	1つの液で洗浄・すすぎ・保存が出来るタイプのケア剤は全て、レンズをつけておくだけで良い。	1つの液でケアが出来るタイプは便利ですが、きちんとこすり洗いをして汚れを落とす必要があります。 ケア用品は、目の状態やレンズによっては使えないものがあるため、必ず眼科医の指導のもと、取扱説明書等をよく読んで使ってください。 また、レンズケースも清潔に保つことが大切。毎日よく洗い、乾燥させ、3ヶ月に1度程度新しいものに交換するようにしてください。
			b	レンズケースは、ケア剤が漏れたりしなくても定期的に取り替える必要がある	
			c	ケア用品はドラッグストアなどで様々な種類があるが、眼科医に相談して選んだ方が良い。	
14	コンプライアンス	目の健康のために、コンタクトレンズの購入に関して最も適切と考えられるものはどれ？	a	眼科で医師の検査・処方を受けて、コンタクトレンズ販売店で購入した	コンタクトレンズは、目の状態に合ったものでなければなりません。また、眼科医の指示通りに使用しないと、目のトラブルが発生するリスクも高くなります。必ず眼科医の検査・処方を受けて購入してください。
			b	友達に頼んで買ってきてもらった	
			c	コンタクトレンズ販売店で視力を伝えて購入した	

©J&J KK 2008